

No.	025	—	1002	事務事業名	学校給食事業		細事務事業名	学校給食に関する事務			公的関与	1	
PLAN	課名	学校給食センター		係名	学校給食係		電話番号	089-966-6322		メールアドレス	kyusyoku@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実			主要施策	(7) 学校給食の充実と食育の推進			
	事業の対象	幼・小・中の園児・児童・生徒					根拠法令	学校給食法、東温市学校給食センター設置条例					
	事業の目的	最終的	子どもたちが食についての正しい知識や食習慣を身に付け、心身ともに健全な成長を促します。				今年度	子どもたちが食についての正しい知識や食習慣を身に付けるための献立や、食育の指導を行ないます。					
	活動内容	①	給食の安全管理				④	給食物資納品・検収					
		②	献立作成				⑤						
		③	給食物資発注										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標		
		学校給食における地場産物の使用割合（週間統計数値）		センター使用総食材数分のセンター使用愛媛県産食材数×100			%	目標	70	70	70	70	
学校給食における地場産物の使用割合（週間統計数値）		センター使用総食材数分のセンター使用東温市産食材数×100			%	実績	99	98					
						目標	40	40	40	40			
						実績	45	50					
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	学校給食センター			費			
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	55,150 千円	51,608 千円	60,243 千円								
	計(A)	55,150 千円	51,608 千円	60,243 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.265 人	7,756 千円	1.265 人	7,895 千円	1.265 人	7,901 千円					
		臨時職員工数・経費	0.950 人	1,886 千円	0.950 人	1,888 千円	0.950 人	1,884 千円					
	全体事業費(A+B)	64,791 千円		61,391 千円		70,028 千円							
一次評価者	学校給食係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	児童・生徒の心身の健全な発育のために必要な事業です。												
有効性	栄養面はもちろん、食育の面でも給食の果たす役割は非常に大きいと考えます。												
達成度	地元企業と協力し、旬の食材を加工保存し、端境期に使用したりしています。												
効率性	効率性だけを追求していく事業ではありませんが、コスト削減の余地については、考えていかなければならないと思います。												
当面の課題	地元産食材の使用を促進し、さくら市場給食部会を通して地産地消に努めておりますが、これ以上の増加は難しいと思われま												
改訂計画	季節の行事に関するメニューづくりや、全国各地の名物料理等を工夫を加えながらメニューに加えていきたいと思												
二次評価者	学校給食センター所長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	本市の地産地消率は愛媛県で第一位となっておりますが、更なる地産地消の推進は、子ども達への食育のみならず、市内農業者の支援にもつながることにもなることから、さくら市場給食部会を基本として更なる出荷者の増に取り組むとともに、加工等による通年使用にも更に取り組むことが望ましいと考えます。												

No.	025	—	1003	事務事業名	学校給食センター施設管理業務	細事務事業名	学校給食センター施設管理業務	公的関与	1					
PLAN	課名	学校給食センター	係名	学校給食係	電話番号	089-966-6322	メールアドレス	kyusyoku@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(7) 学校給食の充実と食育の推進					
	事業の対象	学校給食センターの施設				根拠法令	学校給食法、東温市学校給食センター設置条例							
	事業の目的	最終的	給食センターを安全・快適に運用できるよう維持管理に努めます。			今年度	給食センターを安全・快適に運用できるよう維持管理に努めます。							
	活動内容	①	施設管理、消耗品管理、備品管理、清掃業務、保守点検等を行ないます。			④								
		②				⑤								
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標				
				業務の性質上、指標設定になじまない。		%	目標							
				%	実績									
				%	目標									
				%	実績									
				%	目標									
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	学校給食センター		費						
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	18,558 千円	18,450 千円	20,626 千円									
	計(A)	18,558 千円	18,450 千円	20,626 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.495 人	3,035 千円	0.495 人	3,089 千円	0.495 人	3,092 千円						
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		21,593 千円	21,539 千円	23,718 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学校給食係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	安全・安心な学校給食の充実を図るために、施設設備の管理は徹底して行う必要があります。												
	有効性	給食センターを維持していくためには、継続して行う必要があります。												
	達成度	管理点検等はこまめに、衛生管理は常に改善を加えながら行っております。												
	効率性	効率性だけを追求していく事業ではありませんが、費用対効果について検証し、経費の節減を行っています。												
	当面の課題	13年目をむかえて、施設設備等の故障が多くなっております。												
	改革計画	適正な保守を行い、設備機器の効果的な修繕等を行います。長寿命化を図るため厨房機器、空調設備、配送車両等の更新計画を作っていきます。												
二次評価者	学校給食センター所長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	施設・設備の老朽化が年々進んでいるものの、更新費用は莫大となることが予想されます。年次計画等により計画に改修・更新を進める必要がありますが、児童・生徒数の減少傾向も併せて考慮する必要があります。													